



すみれ組だより 3月号



平成29年 3月17日 ことり保育園 担当 石塚

厳しい寒さも少しずつ和らぎ、ポカポカとした春の陽気を感じられるようになりました。

すみれ組の子ども達は、「カッコいいひまわり組さんになりたい」と、進級への期待を膨らませております。

今月に入ってから、体育ローテーションでは、総合遊具や飛び箱にも取り組んでいます。正座をし、腕の力だけですべり台を登るのが難しく、止まってしまうたり、お尻が浮いてしまうこともあります。保育者に援助をしてもらい、何度も繰り返す中で、「先生、登れたよ」と自分で登れるようになった子が増えてきました。

きりかみの製作では、はさみを上手に持ち、保育者が切る場所を教えると、「ここから切ればいいかな」と自分で切りやすいところを探し、スムーズに切ることが出来るようになりました。

4月の頃は、新しいクラスに、先生と不安そうにしていた子もいました。今では一人ひとりがのびのびと笑顔で過ごせるようになりました。残り少ない日々も子ども達の喜びを大切に、楽しく保育していきたいと思っております。

至らぬ点も多々ありましたが、保護者の皆様には、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

